

音楽は精神の炎を噴出させねばならぬ



Je ne l'estimais que comme un C. Rob. Fern.
ou Zola ...
Beethoven
0.29.21.1952

ベートーヴェン

1952年当時の川棚市長が、偉人の筆名を依頼された、
カルトーの上空を飛ぶという地元の噂に導かれて、
この碑文が、川棚の地を歩き、川棚の歴史をたどり、
とフランス人音楽家の思いをつまみとめて、
「音楽は精神の炎を噴出させねばならぬ」として、
ベートーヴェンの言葉を日本の文字で残しました。

コルトーと川棚の物語

世界的なピアノリスト・コルトーは、
演奏旅行の途中で川棚温泉を訪れ、
島・海・里・湖・山と連なる自然美を絶賛し、
響灘に浮かぶ厚島(孤留島)を終の住処にしたいと熱望しました。
コルトー没後50年・来日60周年の今年2012年を
「コルトーWメモリアル・イヤー」とし、奇しくもコルトーが
滞在したホテル跡地に誕生した、
川棚の杜・コルトーホールにおいて、
シンポジウム「いま、アルフレッド・コルトーから
受け継ぐべき魂」を開催いたします。
音楽家コルトーの精神を、未来へ向けてどのように
受け継ぐべきか語り合います。
音楽によるまらづくりをすすめる川棚温泉において、
皆さんと一緒に歴史を刻む一日にできれば幸いです。



逸田 稔子
(ピアノリストコルトーの弟子)



パトリック・シグマノフスキー
(ピアノリスト・コルトーの再来者)



友永 次郎
(川棚市音楽実行委員会
専ら学芸文化部長)



フランソワ・アンセルミニ
(ピアノリストコルトー研究家)



梅津 時比古
(音楽評論家)

写真/コルトーが1952年10月7日から3泊滞在した川棚観光ホテル

コルトー 没後50年 来日60周年 Wメモリアル・イヤー 記念シンポジウム

いま、
アルフレッド・コルトーから
受け継ぐべき
魂



2012.10月8日[月・祝]
会場/川棚の杜・コルトーホール
開場13:00/開会13:30/閉会16:00 入場料/無料 [定員200人(先着順)]

■申込方法/住所、氏名、電話番号を書いて、直接又は電話、ファックス、Eメールで川棚の杜までお申し込み下さい。
■申込先/電話083(774)3855 FAX 083(774)3856 E-mail cortot@kawatana.com
■申込期間/平成24年9月1日(土)~平成24年9月30日(日) [必着]



私の思いはひとりあの島へ残るだろう。

写真/コルトーが滞在した川棚観光ホテル跡地に誕生した川棚の杜・コルトーホール(隈研吉氏設計)から孤留島を望む

Schedule

- 13:00 開場・受付
- 13:30 開会
「時の証言」コルトー来日時のエピソードなど
- 14:00 シンポジウム
- 15:30 ミニコンサート(出演者によるピアノ演奏)
- 16:00 閉会



下関市川棚温泉交流センター
コルトーホール/鳥山民俗資料館

いま、アルフレッド・コルトーから受け継ぐべき魂

世界的なピアニスト・コルトーは演奏旅行の途中で川棚温泉を訪れ、島・海・里・湖・山と連なる自然美を絶賛し、終の住処とする事を熱望しました。コルトー没後50年・来日60周年の今年2012年を「コルトーW Memorial Year」とし、奇しくもコルトーが滞在したホテル跡地に誕生した川棚の杜・コルトーホールにおいて、シンポジウム「いま、アルフレッド・コルトーから受け継ぐべき魂」を開催いたします。音楽家コルトーの精神を、未来へ向けてどのように受け継ぐべきか語り合います。音楽によるまちづくりをすすめる川棚温泉において、皆さんと一緒に歴史を刻む一日にできれば幸いです。

Panelist



遠山 慶子

Keiko Toyama
(ピアニスト・コルトーの弟子)

東京に生まれる。幼少の頃より井上定吉に師事。アルフレッド・コルトー来日の際に認められ渡仏、コルトーのもとで3年間研鑽を積む。エコール・ノルマル高等音楽院終了。1963年パリでデビュー以来、ヨーロッパ、アメリカ、日本などで活躍。

1978年に行ったりサイタルに対して日本シヨパン協会賞を授与。巨匠カルロ・ゼッキ、シャンドールヴェーグをはじめとする名指揮者との共演、ロンドン・ティボー、ゲザ・アンダ等国際コンクールの審査員、また草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルでは第1回から講師、演奏家として参加している。2009年にはウェルナー・ヒンクとのデュオによる『モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ選集』(全5枚)の全曲録音が完結。同シリーズは各方面で絶賛され、翌2010年の第51回毎日芸術賞を受賞した。

ゼッキ、シャンドールヴェーグをはじめとする名指揮者との共演、ロンドン・ティボー、ゲザ・アンダ等国際コンクールの審査員、また草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルでは第1回から講師、演奏家として参加している。2009年にはウェルナー・ヒンクとのデュオによる『モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ選集』(全5枚)の全曲録音が完結。同シリーズは各方面で絶賛され、翌2010年の第51回毎日芸術賞を受賞した。



パトリック・ジグマノフスキー

Patrick Zygmanski
(ピアニスト・エコールノルマル音楽院教授)

パリ国立高等音楽院卒。ピアノ、室内楽ともに金賞受賞。指揮法も勉強するかたわら、在学中にパリ国立オーケストラのピアニストに抜擢されマゼルの名指揮者のもと演奏、現代曲などを数多く初演した。卒業後はミュンヘン国立音楽院にてオーピッツ氏に師事。数々の国際コンクールに入賞後、録音したCD

は非常に高い評価を受け『エレガンスを失わずに威光を放つ演奏』と批評される。池田珠代とのピアノ四手連弾は今フランスで最も輝くピアノDUOとして注目を集めている。フランスのボルドー音楽祭Musique festival'を立ち上げ、また日本版として横浜で同音楽祭をプロデュースする。2007年、その活躍でフランス芸術アカデミーからデルマス賞を授与された。



友永 次郎

Jiro Tomonaga
(コルトー音楽祭実行委員長・梅光学院大学教授)

下関市民オーケストラ、下関フィルハーモニックウインドオーケストラ、山口大学医学部・工学部管弦楽団、梅光学院大学ウインドオーケストラ、下関ルーテル教会聖歌隊の指揮者・トレーナーまたは音楽監督を務める。また、下関市立美術館ギャラリーコンサート企画委員、下関市芸術文化奨励賞選考委員、コルトー音楽祭実行委員長でもある。下関市芸術文化振興奨励賞、山口県芸術文化功労賞受賞。

Coordinator



梅津 時比古

Tokihiko Umezu
(音楽評論家)

毎日新聞学芸部専門編集委員。著書に「冬の旅 24の象徴の森へ」「<セロ弾きのゴーシュ>の音楽論」(芸術選奨文部科学大臣賞、岩手日報賢治賞)ほか。音楽評論で初の日本記者クラブ賞受賞(2010年度)。桐朋学園大学特任教授。早稲田大学講師。

※都合により出演者、内容が変更になる場合もありますので予めご了承ください。
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

Schedule

- 13:00 開場・受付
- 13:30 開会
「時の証言」コルトー来日時のエピソードなど
- 14:00 シンポジウム
- 15:30 ミニコンサート(出演者によるピアノ演奏)
- 16:00 閉会



下関市川棚温泉交流センター(川棚の杜)

〒759-6301 山口県下関市豊浦町川棚5180

TEL083(774)3855 FAX083(774)3856

http://kawatanaomori.com E-mail cortot@kawatana.com